

Ⅲ 市の高齢者の状況

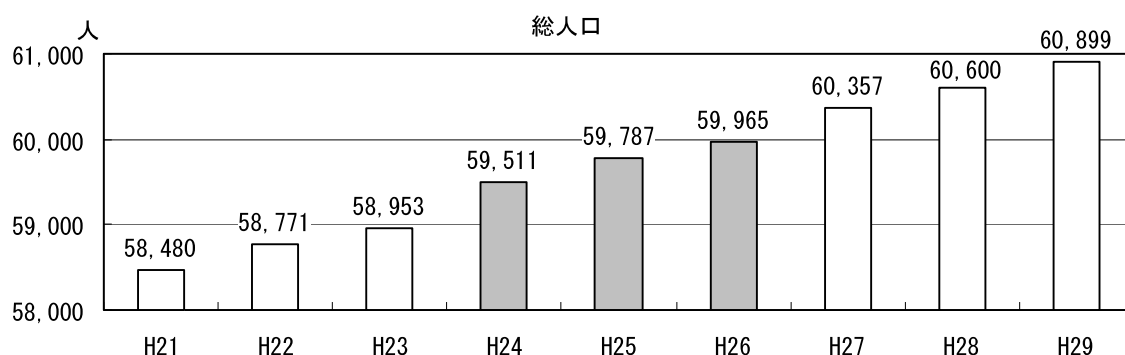


Ⅲ 市の高齢者の状況

1. 人口動態

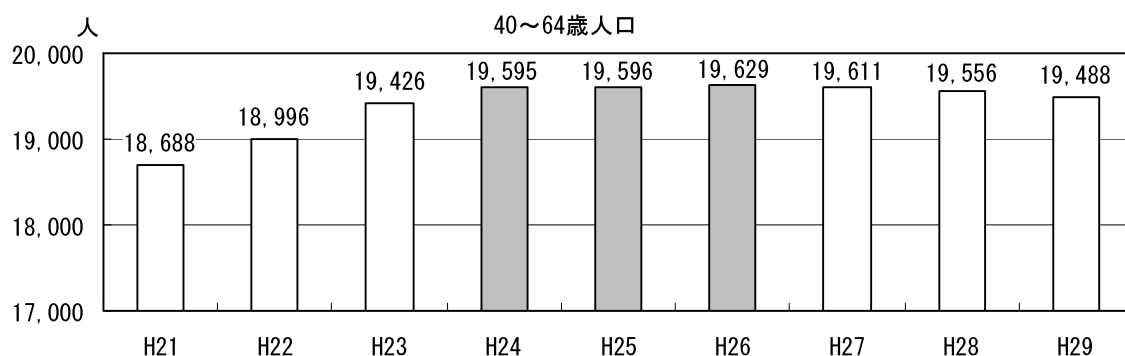
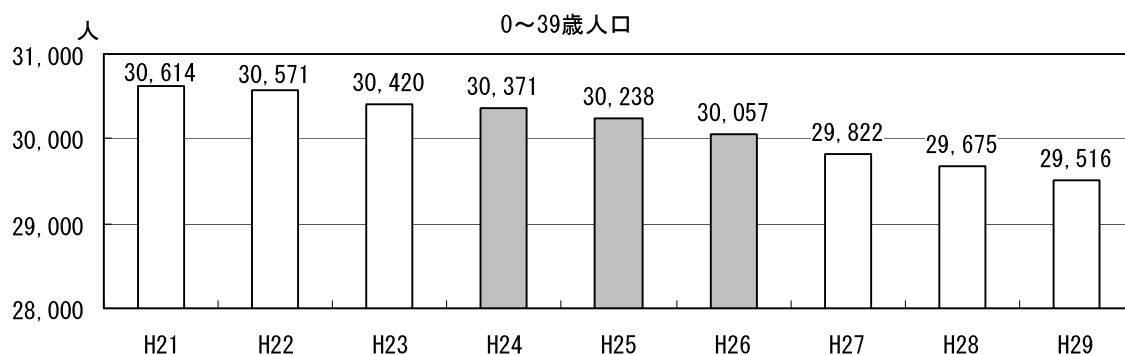
(1) 総人口の推移

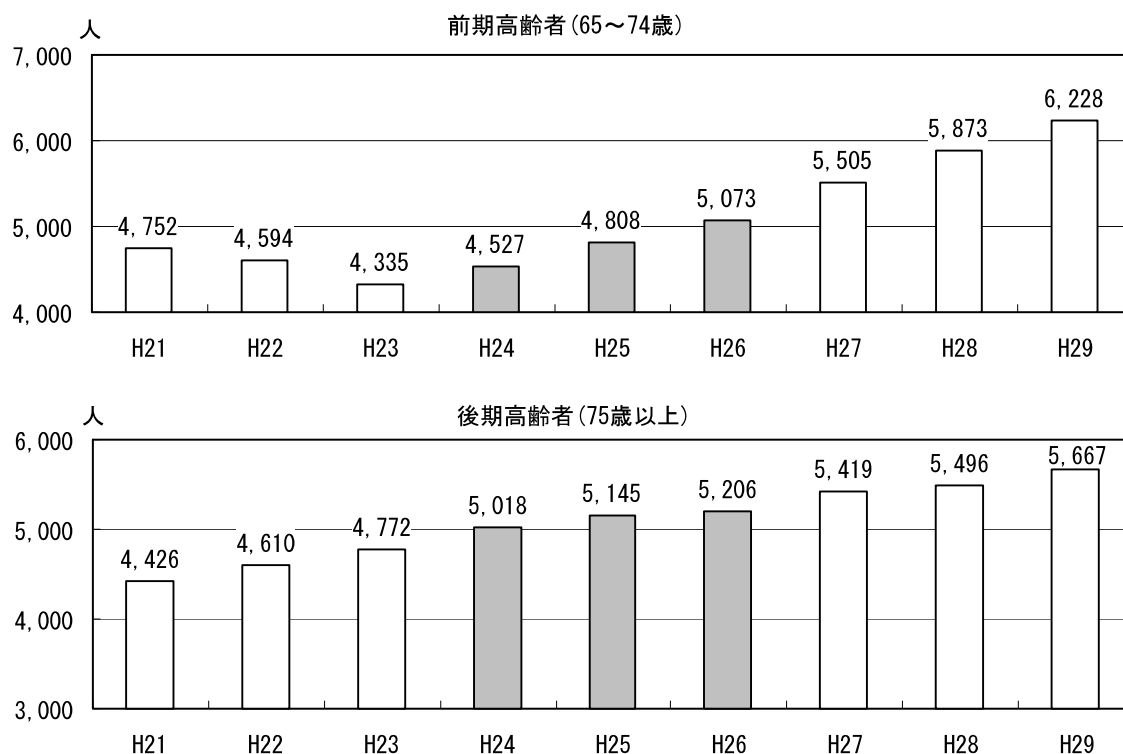
本市の人口は年々増加し続けており、今後も増加は続く見込まれています。



(2) 人口構成の推移

第5期計画期間中の人口推移を年齢4区分別に見ると、40歳未満人口が減少する一方で、前期高齢者数（65～74歳）及び後期高齢者数（75歳以上）は増加する見込みで、前期高齢者が急激に増加します。40～64歳人口は、第5期計画期間中は、あまり増減はなく第5期計画終了後に減少する見込みです。

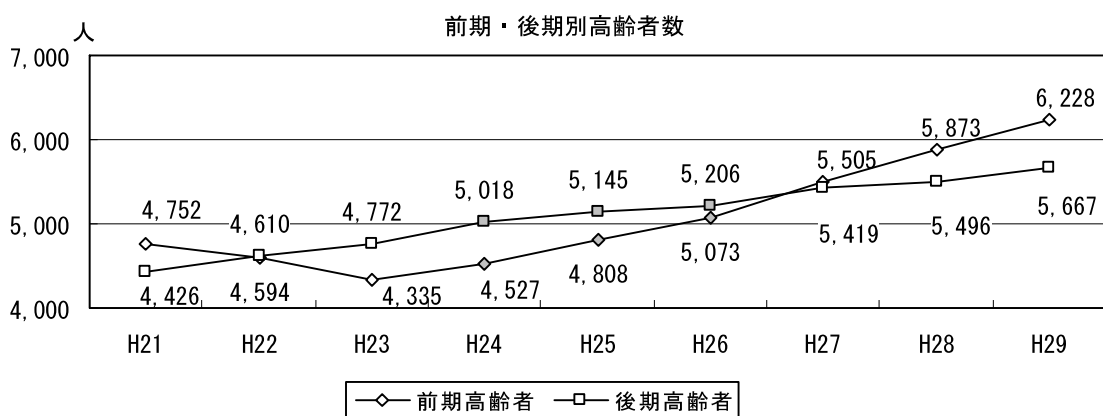




(3) 前期・後期別高齢者人口の推移

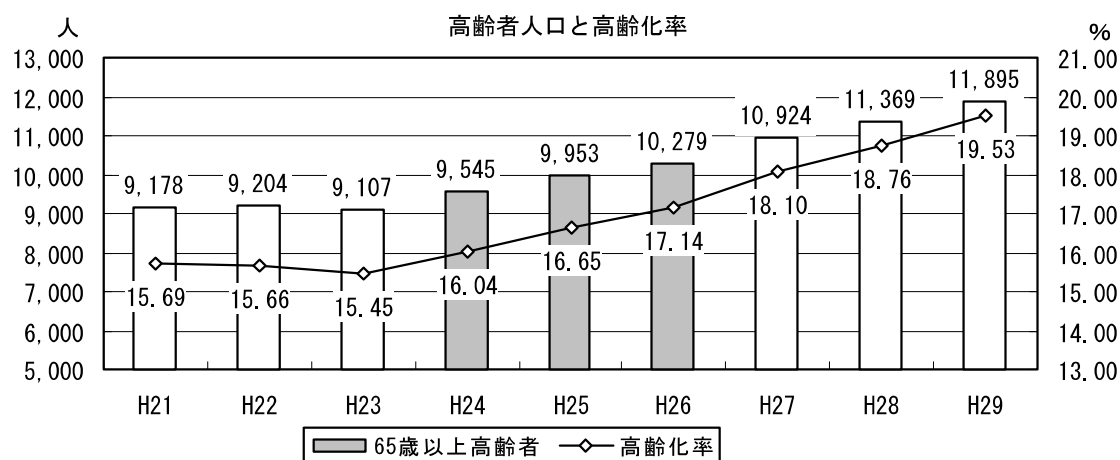
後期高齢者数は年々増加し、平成22年を境に後期高齢者数が前期高齢者数を上回りゆるやかに増加する見込みです。

前期高齢者数は平成23年まで減少するが、その後増加を続け平成27年に再度、後期高齢者を上回ると見込まれています。



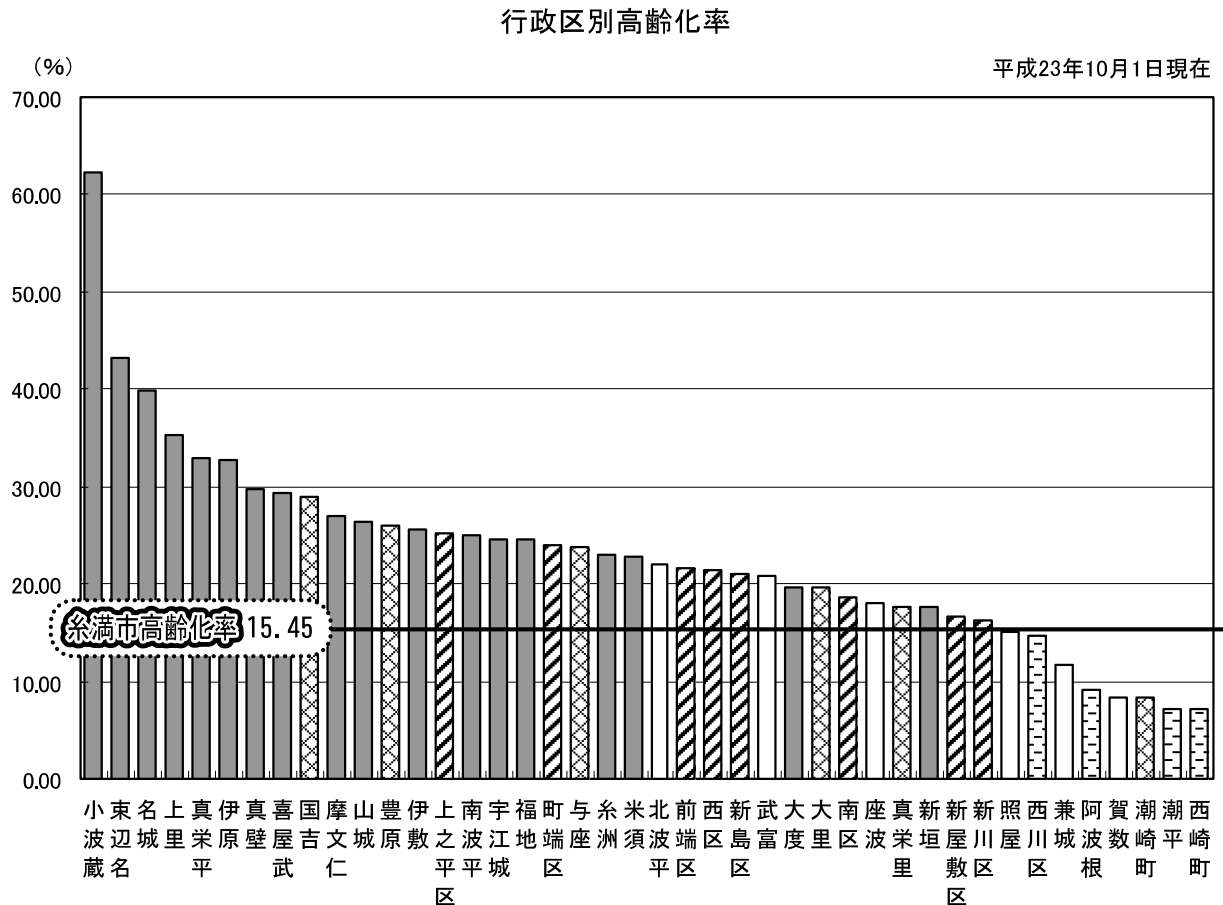
(4) 高齡化率

高齢化率は平成23年まで減少を続け、団塊の世代が高齢期に達する平成24年から再度上昇するものと予測されます。



(5) 行政区別の高齢化率

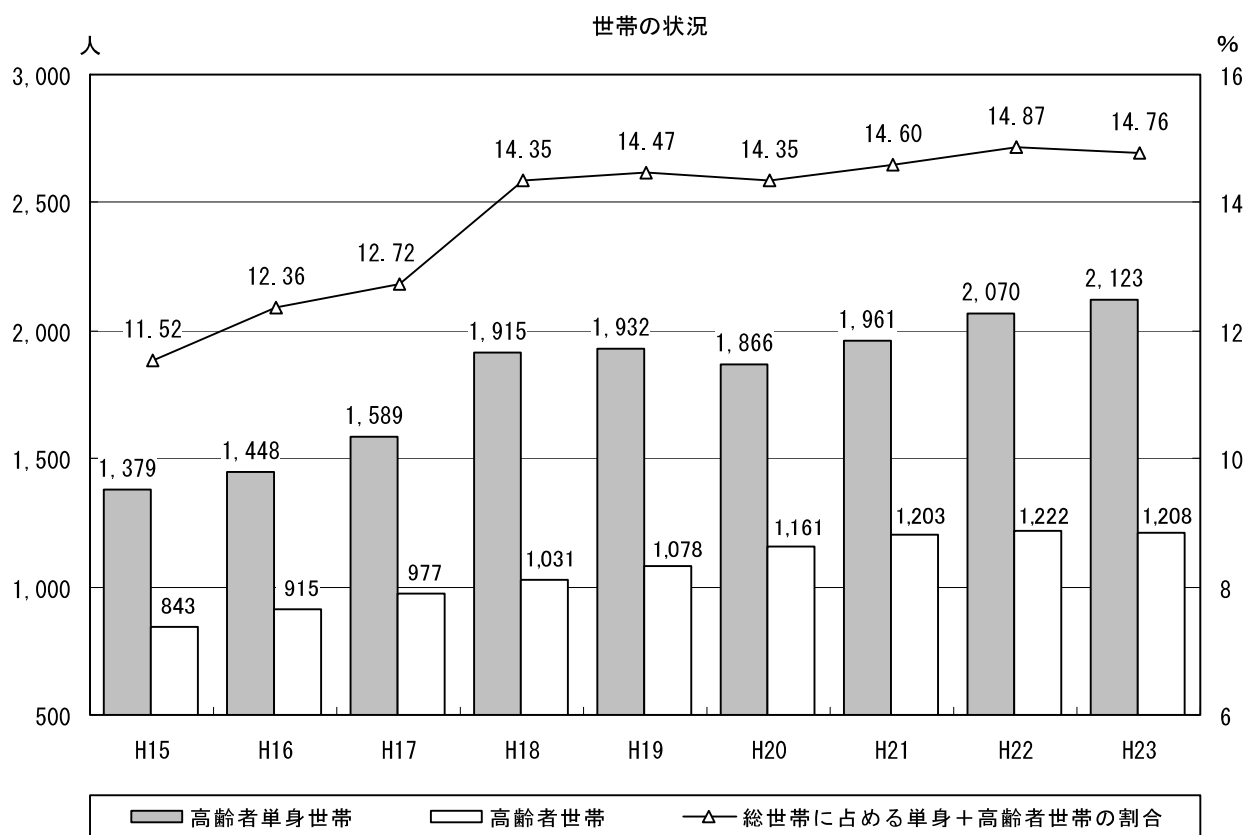
42 の行政区のうち 34 行政区が、本市の高齢化率（平成 23 年：15.45%）を上回っています。



(※施設入所者も加味した人数で表記)

2. 世帯の状況

高齢者単身世帯と高齢者世帯（６５歳以上の者のみで構成するか、又はこれに１８歳未満の未婚の者が加わった世帯）は、それぞれ増加傾向となっています。これらを合わせた世帯が総世帯に占める割合は平成１８年に大きく上昇し、その後も上昇傾向で推移しています。今後も、核家族化や少子化の影響を受け、高齢者単身世帯及び高齢者世帯は増加すると予想されます。



3. シルバー人材センターの状況

シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある 60 歳以上の方々が就業している営利を目的としない公益法人です。平成 24 年 1 月には、設立から 20 周年を迎えました。

農作業、清掃等の環境分野、障子や襖の張り替えといった機能分野、宛名書き等の事務分野、駐車場管理、家事・育児・福祉サービス等を受けています。

一般家庭からの庭木の手入れや除草作業のほか、企業等からは敷地清掃作業などの仕事も増えてきました。

登録者数は緩やかに減少しており、平成 23 年では 465 人となっています。

シルバー人材センター登録者数 単位：人

	平成21年	平成22年	平成23年
登録者数	482	481	465

基準月：各年2月末現在（介護長寿課調べ）

4. 老人クラブ

老人クラブには、各行政区単位の「単位老人クラブ」と、市内の単位老人クラブで構成される「老人クラブ連合会」があります。

ゲートボールやグラウンドゴルフ、ペタンクといったスポーツ活動や民謡、カラオケなどのレクリエーション・文化活動といった生きがい活動、その他地域福祉活動などを行っています。

登録者数が減少しており、平成 23 年では 1,301 人と、前年より 116 人減となっています。

老人クラブ登録者数 単位：人

	平成21年	平成22年	平成23年
登録者数	1,440	1,417	1,301

基準月：各年3月末現在（介護長寿課調べ）

5. 介護保険の状況

(1) 要介護認定者の状況

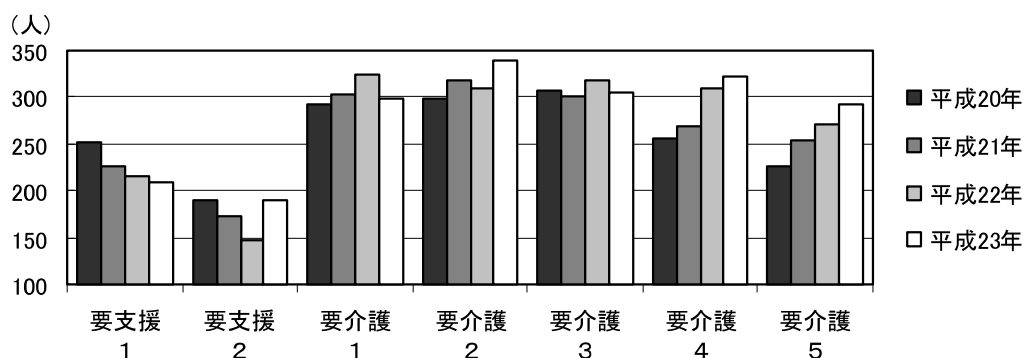
- ・認定者数は、毎年増えており認定率も上がっています。
- ・要支援1、2の軽度認定者は減っていますが、要介護4、5の重度認定者が増えてきています。年齢が高くなるにつれ重度認定者が多いことから、介護サービスを受けながら徐々に介護度が上がり重度になってきていると考えられます。
- ・75歳以上の後期高齢になると認定者数が増え80～84歳では約30%、3人に1人が認定を受けています。

要介護認定者数

単位：人

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
要支援1	251	227	215	210
要支援2	189	172	148	190
要介護1	292	304	325	299
要介護2	299	317	309	339
要介護3	307	300	318	306
要介護4	255	268	309	323
要介護5	226	254	270	292
計	1,819	1,842	1,894	1,959
認定率	19.9%	20.2%	20.7%	21.4%

※事業報告各年3月分報告、H23年は12月報告から



介護保険認定者の年代別認定状況（比較）

単位：人

年代	2号被保険者	1号被保険者						計
	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	
人数	19,219	2,082	2,342	1,979	1,375	759	597	9,134
認定者数	94	75	150	289	410	435	441	1,894
認定率	0.5%	3.6%	6.4%	14.6%	29.8%	57.3%	73.9%	20.7%

※65歳以上人口、認定者数（第2号被保険者含む）は、平成23年3月31日現在

(2) 新規申請者の状況

- ・介護認定の新規申請者は、毎年500件程度となっています。
- ・性別年代別に新規申請者数を見ると、特に75～84歳の女性の新規申請が多くなっています。
- ・原因疾患として女性は膝関節・腰痛疾患が多く、男性は脳血管疾患が多くなります。地域デイサービスや二次予防事業での取り組みを推進し、また生活習慣病予防への取り組みとして健診受診率保健指導の充実を図る必要があります。

新規申請状況

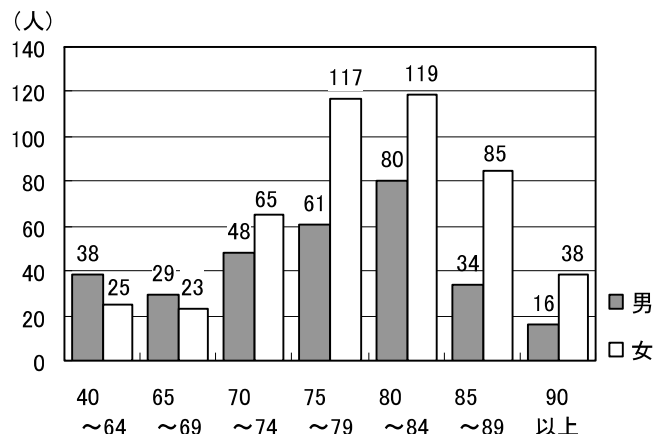
単位：人

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
新規申請件数	490	457	533	429※

※平成23年度は12月認定まで

年代別新規申請者（H22～23年） 単位：人

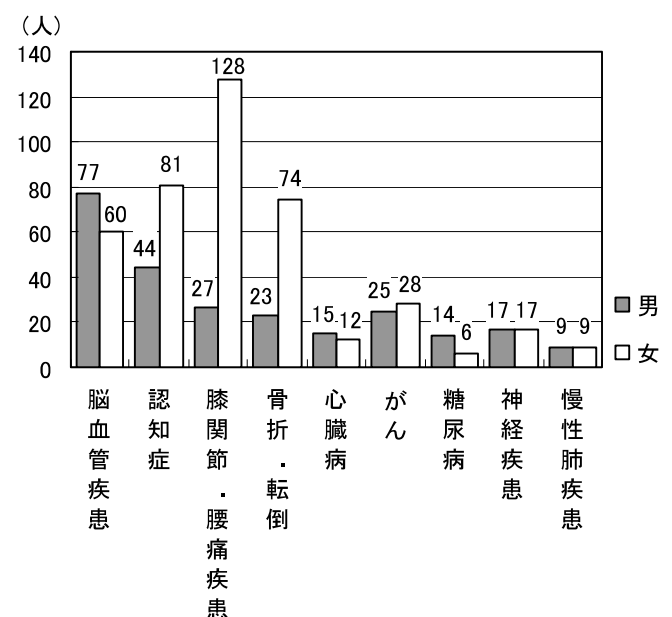
	男	女
40～64歳	38	25
65～69歳	29	23
70～74歳	48	65
75～79歳	61	117
80～84歳	80	119
85～89歳	34	85
90歳以上	16	38
計	306	472



原因疾患

単位：人

	男	女
脳血管疾患	77	60
認知症	44	81
膝関節・腰痛疾患	27	128
骨折・転倒	23	74
心臓病	15	12
がん	25	28
糖尿病	14	6
神経疾患	17	17
慢性肺疾患	9	9
その他	55	57
合計	306	472



(3) 介護支援専門員へのアンケートより

① 担当利用者のうちの独り暮らし高齢者の人数

- ・独居者の比率が、25.6%と高くなります（一般のニーズ調査では 13.7%）

担当利用者総数	828人
独居者	212人
キーパーソンなし	22人
独居者の割合	25.6%

② ここ1年で施設入所になった人の状況

- ・施設入所の理由として認知症が最も多くなります。

利用者総数	989人
施設入所になったケース	64人
施設入所になった割合	6.47%

入所に至った原因

認知症	15人
転倒	11人
歩行不可	8人
その他※	23人
※記述内容 ・介護疲れ ・病状の進行 ・介護者入院	

③ 市内で不足していると思われるサービス

- ・通所、ショートステイ、安否確認等ができる小規模多機能施設が必要という意見が多くなっています。

小規模多機能	24人
入所系	13人
ショート	9人
訪問系	2人
通所系	1人
その他	2人

④ 糸満市で今後必要だと思うサービス

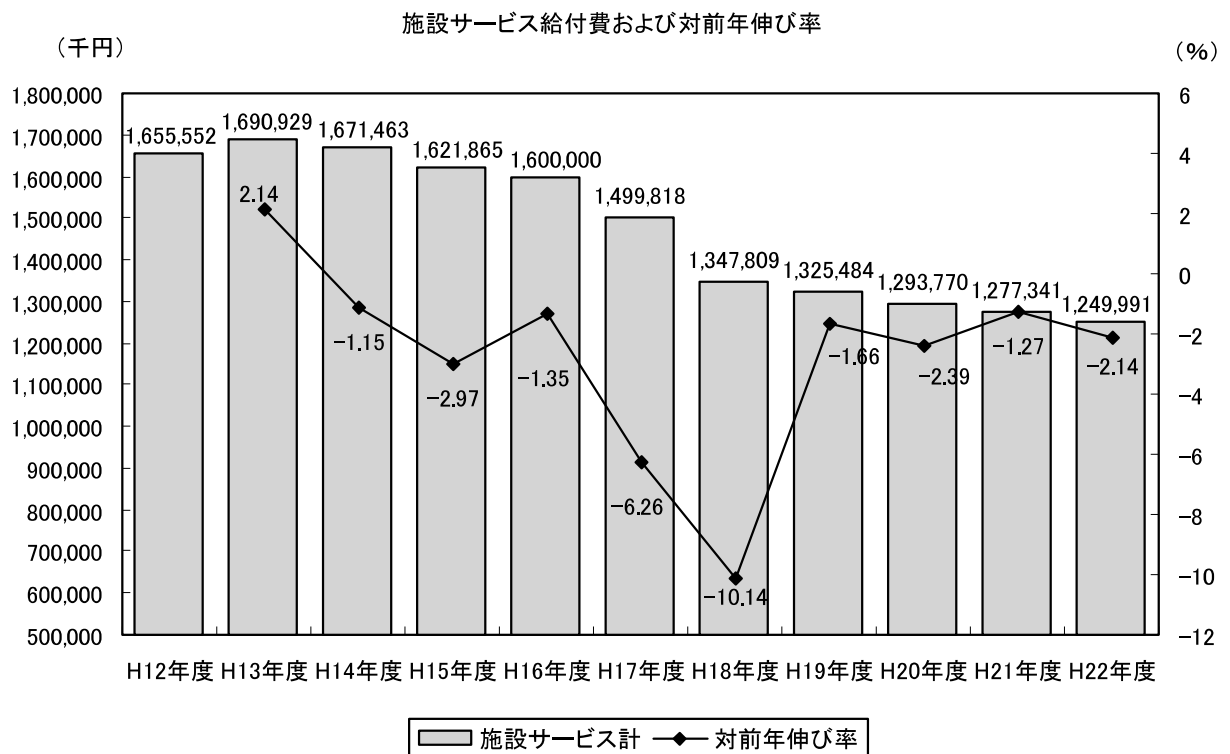
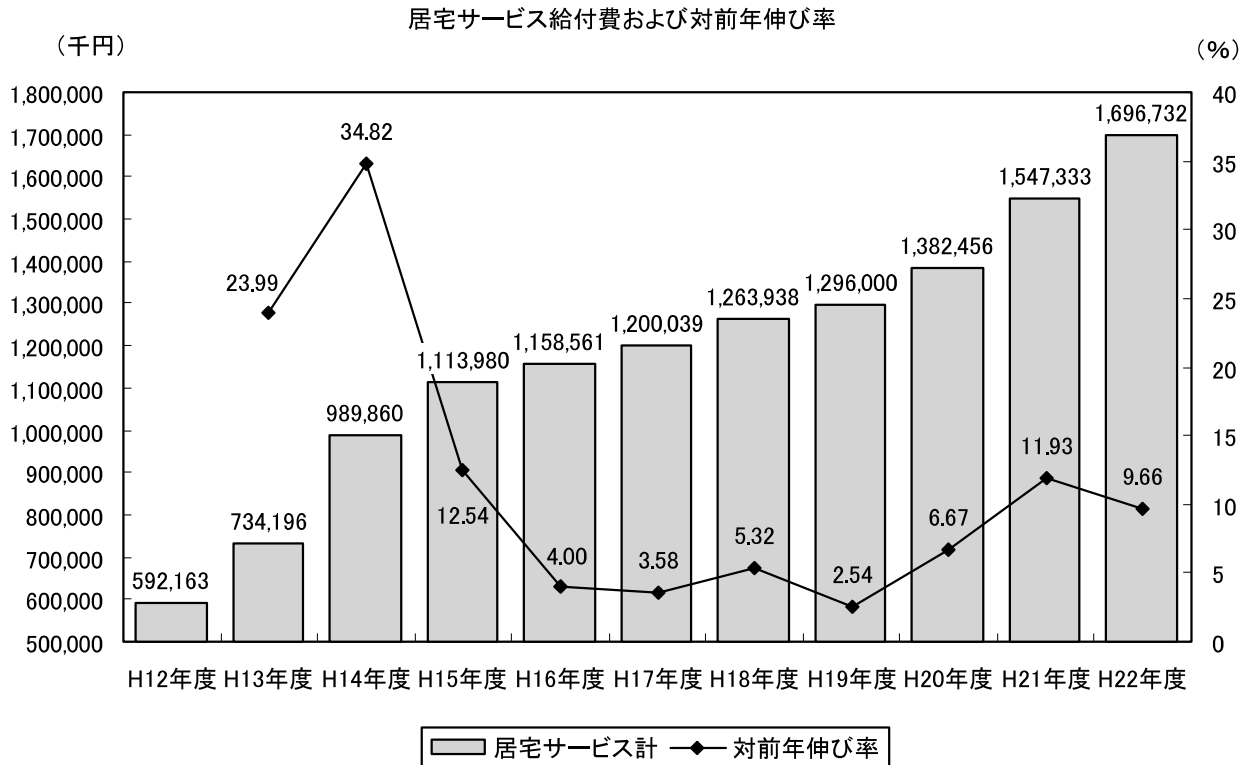
- ・地域の方の見守りがあれば、認知症があっても地域で生活できている人がいるので、見守り連絡体制を整えていくことが必要とする意見が多くなります。

見守り	59人
通所系	34人
訪問系	23人
入所系	13人
その他	4人

(4) 給付費の推移

① 居宅サービス・施設サービスの給付費

・施設サービス費は、横ばいですが、居宅サービス費は年々増えています。



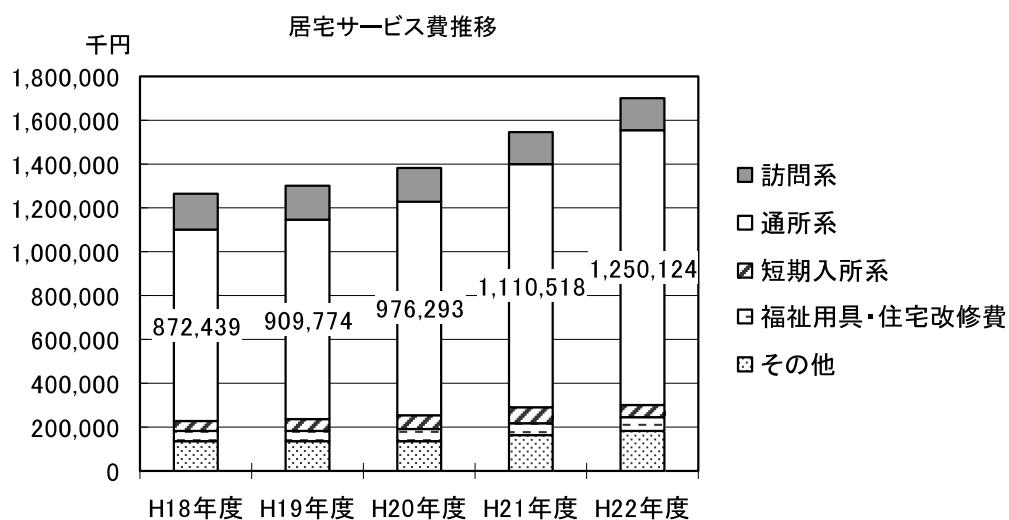
②居宅サービスの内訳

- ・居宅サービス費の内訳では、通所系サービス費用額が増えており、訪問系サービスは減少しています。
- ・介護度別通所系サービス費用額で見ると、要介護4、5の重度認定者の通所介護費の増加が大きくなります。

居宅サービス費用額

単位：千円

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	計	構成比
訪問系	163,523	153,828	151,439	148,485	142,365	759,640	10.57%
通所系	872,439	909,774	976,293	1,110,518	1,250,124	5,119,148	71.23%
短期入所系	42,593	50,059	63,102	67,773	62,812	286,339	3.98%
福祉用具・住宅改修費	50,299	47,130	51,375	58,104	60,572	267,480	3.72%
その他	135,086	135,209	140,247	162,452	180,859	753,853	10.49%
居宅サービス計	1,263,940	1,296,000	1,382,456	1,547,332	1,696,732	7,186,460	100%
伸び率 (対前年度)		2.54%	6.67%	11.93%	9.66%		

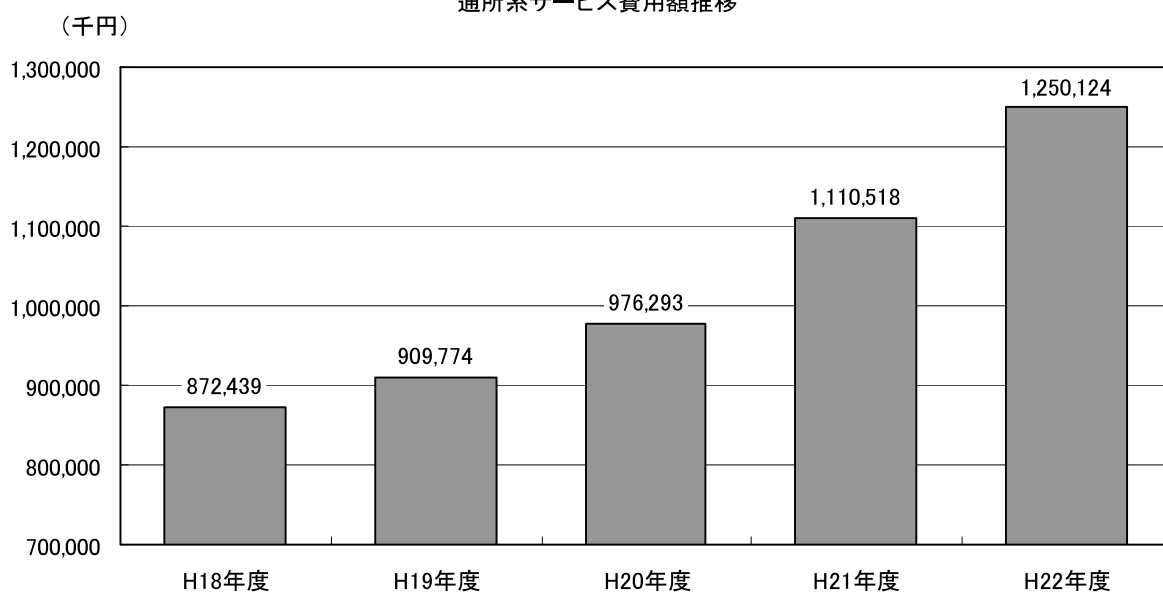


通所系サービス費用額

単位：千円

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	計	構成比
要支援1	25,343	47,732	48,085	44,114	34,719	199,993	3.91%
要支援2	25,185	63,492	60,815	60,349	56,385	266,226	5.20%
要介護1	303,593	191,060	195,463	207,982	222,633	1,120,731	21.89%
要介護2	178,355	208,719	216,695	239,280	273,455	1,116,504	21.81%
要介護3	168,714	194,059	218,041	272,567	279,496	1,132,877	22.13%
要介護4	116,123	138,650	163,519	186,141	222,896	827,329	16.16%
要介護5	55,126	66,062	73,675	100,085	160,540	455,488	8.90%
計	872,439	909,774	976,293	1,110,518	1,250,124	5,119,148	100%

通所系サービス費用額推移



通所系サービス費用額推移(介護度別)

